

コロナ下で学び力強く卒業

「空見上げて壁越える」

中日本航空専門学校 変革恐れず

中日本航空専門学校の卒業式が16日、関市迫間の同校で行われ、次代の航空産業を担う258人が学びやを巣立った。

卒業したのは航空整備科141人、航空生産科39人、エアポートサービス科78人。このうち105人が航空整備士の国家資格に合格

している。新型コロナウイルス感染拡大の影響で旅客分野の採用は減少している一方、輸送分野は堅調で、内定率は99%に達した。

式は、普段は航空機を格納している整備実習棟で行い、感染症対策として卒業生と来賓のみ出席した。

安藤弘治校長は「航空業界にも変革の波が到来する。新しいタスクに果敢に挑戦してください」と激励。卒業生を代表してエアポートサービス科の前田怜美さ

ん(20)が「学校という滑走路から自らが選択した業界、目的地に向けて離陸します。壁に直面した時は空を見上げ、乗り越えていきます」と決意を述べた。

(高井博文)



安藤弘治校長(左)から卒業証書を受け取る卒業生。関市迫間、中日本航空専門学校